生存率が非常に低いがんの早期発見に　がん死亡数3位

人間ドック受診者 対象

膵臓がんドック



見えにくい膵臓がんリスクを 3つの検査で多角的にチェック

MRCP MR胆管膵管撮影 ＋ 膵臓超音波 ＋ 血液検査 腫瘍マーカー他

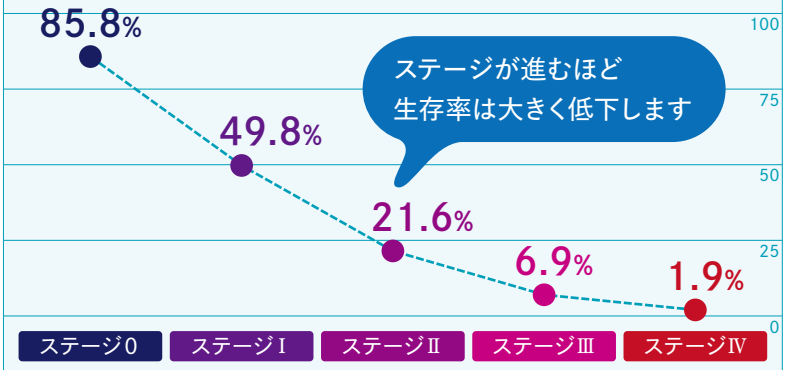
膵臓は胃の後ろ、身体の奥にあります。

膵臓がんは、初期症状が現れにくく、発見が遅れやすいがんです。身体の奥に位置するため検査で見つけにくく、進行してから発見されるケースも少なくありません。だからこそ、症状がない今のうちからの検査が必要です。



ステージⅠでも5年生存率が50%未満

早期発見・早期治療が生存率の大きな差につながります

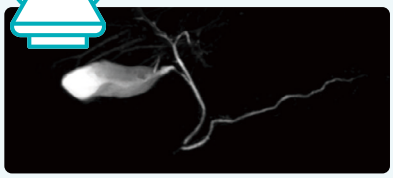


出典：全がん協部位別臨床病期別５年相対生存率（2011-2013年診断症例）

3つの検査を組合わせ、多角的に膵臓がんリスクをチェックします

MRCP（MR胆管膵管撮影）

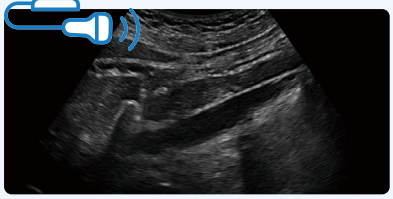
胆嚢・胆管・膵管の形状を詳細に画像化します



造影剤：ボースデル内用液（陰性造影剤）使用

膵臓超音波

膵臓の形や大きさ、腫瘍の有無を確認します



血液検査（腫瘍マーカー他）



血液から膵臓がんのリスクを多角的に評価します

- CA19-9
- SPan-1
- DUPAN-2
- APOA2
- リパーゼ

このような方におすすめします ☑

- ☐ 家族に膵臓がんの方がいる
- ☐ 慢性膵炎などの膵臓疾患の既往がある
- ☐ 生活習慣病（糖尿病・肥満）がある
- ☐ 喫煙歴がある　☐ 飲酒量が多い
- ☐ 50歳以上である



検査料金 60,500円（税込）　要予約

受診できない方

ペースメーカー／体内金属留置の方・極度の閉所恐怖症の方・妊娠中の方・妊娠の可能性のある方・マグネットネイル装着の方　等